

ユーザーマニュアル 4.00.2

SF 100-843-S コンフォームクローム施工方法

ユーザーマニュアルをご確認ください。

- 施工を始める前に、適切なユーザーマニュアルを参照し、(最低/最高)施工温度、推奨被着体、使用温度範囲をご確認ください。これらの情報は施工を成功させるための必須事項であり、グラフィックスの仕上がりや性能に影響します。製品に関する全ての注意事項を確認し、推奨事項を全て遵守した上で、被着体のクリーニングと準備を開始して下さい。
- SF100-843-S コンフォームクロームは、金属光沢のあるデザイン性の高いフィルムです。車両ラッピングやグラフィックス等、ご使用になる用途に対し本製品が適合するかどうかを、事前にお客様の責任においてご判断下さいますようお願い致します。
- 本製品の表面フィルムは大変傷付き易い為、輸送中にフィルムに欠陥が生じることがございます。したがって、表面フィルムの欠陥につきましては、保証対象外と致しますことをご了承ください。

被着体表面の準備

- 粘着製品を適切に貼付するには、被着面がクリーニングされ乾燥した状態であることが最も重要です。
具体的な技術内容は、ユーザーマニュアル 1.01『被着体のクリーニングと事前準備』および、ユーザーマニュアル 1.4『粘着製品の貼付方法』をご参照ください。
- 被着面が乾燥していることを確認してください。特に、被着体の継ぎ目やリベット、波型部分に水や溶剤が残っていないか、よくご確認ください。水や溶剤が残っている場合は、ヒートガン等で温めて完全に乾燥させて下さい。炎の出るものは使用しないで下さい。

注：被着面が塗料メーカーの指示に従って塗装されているか、常に確認してください。特に、乾燥、固化工程はしっかりと行なって下さい。塗装工程が確実に行われていない場合、正常な粘着性能が発揮出来なかったり、剥離できなくなることがあります。

施工に必要な工具について

- 各種スキージ (パッド付き)
- 施工用グローブ
- ヒートガンやドライヤー
- スクレーパー/カッターナイフなど
- 気泡除去ツール (エアリリースペン)
- マスキングテープ
- 水に洗剤を入れた液 (スプレーボトルに入れます) 水：洗剤=20：1
- 温度計 (赤外線温度計等、被着体表面温度が測定できるもの)

粘着製品、被着体及び施工環境の温度について

- 施工環境、フィルム及び被着体表面の温度は、施工を行う上で非常に重要な要素です。粘着剤やフィルムの性能に大きな影響を及ぼします。
- 施工環境、フィルム及び被着体表面の温度は、15℃以上を推奨いたします。
- 施工に使用するフィルムは、同一環境下で 24 時間以上保管してから施工してください。また、施工前にフィルムの外観や状態を確認してください。
- SW900 Easy Apply シリーズフィルムの施工に適した環境温度は、比較的広い範囲に設定されています（詳しくはデータシートをご参照下さい）。
 - フィルムは最低温度付近でも施工できますが、通常より強い圧着力が必要になります。また、最大粘着力を発揮するまでに時間を要します。
 - フィルムがしっかりと被着体に接着する前にマスキングテープを剥がしたり、車両を動かしたりしないで下さい。剥がれることがあります。
 - 高温多湿の条件では、一旦フィルムを被着体に付けた後、位置合わせするために剥がすことが難しくなります。
 - 施工環境及び被着体表面の温度が 30℃以上の場合、Easy Apply 機能が制限されます。
- フィルムを重ね貼りする際に圧着力が弱いと、エア抜け性能に影響が出る場合があります。
- 製品が最大の性能と特徴を発揮するには、15~25℃の温度範囲が最適です。
- グラフィックスを車両に貼りつけた後 24 時間はそのままにし、屋外への使用は控えて下さい。

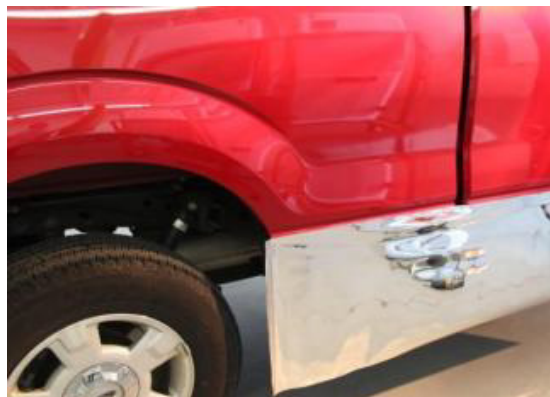
施行前の注意点

- 粘着製品を適切に貼付するには、被着面がクリーニングされ、乾燥した状態であることが最も重要です。
具体的な技術内容はユーザーマニュアル 1.01 『被着体のクリーニングと事前準備』,ユーザーマニュアル 1.4 『粘着製品の貼付方法』をご参照ください。
- 施工温度並びに施工後の使用温度をご確認の上、ご使用下さい。
- コンフォームクロームフィルムの表面は、非常に傷が付きやすくなっておりますので、弊社の推奨する方法にて施工されることをお勧め致します。具体的には本ユーザーマニュアルをご参照下さい。
- 粘着面にアプリケーション液など、水分が付着しないようご注意ください。
- フィルムを加熱し過ぎないようにして下さい。退色や白化することがあります。ヒートガンは低温に設定し、フィルムが曲面に追従できる程度の柔らかさになるまで、緩やかに加熱して下さい。初めて施工される際は、適切な温度設定を確認することをお勧め致します。
加熱による退色や白色化（白化）は、保証できかねますのでご了承ください。
- フィルムを伸ばし過ぎないでください。退色や白化することがあります。フィルムを伸ばす前に、ヒートガンを低温に設定し、フィルムへ緩やかに加熱してから徐々に引き伸ばして下さい。初めて施工される際は、適切な温度設定と、フィルムの伸び具合を確認することをお勧め致します。
加熱と過度の引き伸ばしによる退色や白色化（白化）は、保証できかねますのでご了承ください。

- 本製品の表面フィルムは大変傷付き易い為、フィルム表面に欠陥が生じることがございます。したがって、表面フィルムの欠陥につきましては、保証対象外と致しますことをご了承ください。
- 水貼り施工を行わないでください。水や洗剤液、アプリケーション液が粘着面と被着体面の間に残ると、粘着剤の最大粘着力が低下し、施工後の剥がれの原因となります。
- マスキングを行った場合は、マスキング除去後もスキージでしっかりと圧着してください。マスキングを剥がす際に、エッジリフトする可能性が高くなります。防止の為に、マスキングを剥がした後にもグラフィックス全体の圧着を行なってください。特にエッジは注意深く行なってください。
- 重ね貼りを行う場合は、しっかりと圧着して下さい。他のフィルムより厚く、重ねた部分に空気を残す可能性が有ります。

位置決め

- フィルムの厚みと、本製品の特徴であるRS（位置決め&スライド）機能により、グラフィックスを所定の位置に位置決めし易くなっています。
- グラフィックスや貼り付けるパーツが小さい場合には、剥離紙を全て剥がしてから被着体に貼り付けます（写真1および2参照）。
- グラフィックスが大きい場合や、アプリケーションテープを必要とするような複雑な切り文字の場合、ヒンジ法で行なってください。グラフィックスを所定の位置に置き、アプリケーションテープで仮留めします。



貼付け（スキージング）

ウェットフェイス法（水貼りとは異なりますので、ご注意ください）

グラフィックスの位置決めをした後、剥離紙を全て剥がし以下のステップで貼付けを行ないます。

Step 1 スキージのパッド部分を、洗剤を含んだスプレーで十分濡らします。（洗剤が傷つき予防をする、潤滑剤の役目をします）。



Step 2 圧をかける部位が重複していくように、スキージをなめらかに動かします。効率よく空気を押し出しながら、シワにならないよう貼りつけていきます。

注意：フィルム端部周辺は注意して下さい。パッドが含んだ水分が粘着層へ侵入する可能性があります。



Step 3 車体のエッジやカーブ部分では、フィルムをやさしくゆっくり沿わせていきます。スキージの他に施工用グローブ（濡らしたもの）を使用したり、ヒートガンで軽く温めてもよいでしょう。



注：温める場合は、ゆるやかに温度が上昇するように 40-50 度まで温めます。赤外線温度計が温度調整に役立ちます。

一度に温める範囲は小さくします。くれぐれもフィルムを加熱しすぎない様、伸ばしすぎない様に、ご注意ください。



Step 4 フィルムの形づくりが終わったら、しっかりと圧着します。切れ味のよいカッター（折る刃式がよい）を用いて不要な箇所をトリミングします。ナイフの刃は常に新しいものを使用してください。



Step 5 常にスキージのパッド部分は、濡れた状態に保つよう注意します。グラフィクス全体が、しっかりと車体に接着しているか確認します。



再圧着工程のコツ: スキージの使い方

注: この工程を行う事により、エッジリフトに起因する施工後の不具合を予防することができます。

- グラフィクスの全てのエッジを、再圧着します。しっかりと圧力を加え、圧着部位が重なりあるようにスキージを動かします。
- グラフィクスの密着力を高める為に、40～60℃位まで加熱することも有効です。
- 傷や損傷を防ぐ為、新品のパッドを貼ったスキージを使用します。
- 再圧着は、全てのフィルムエッジに対して行ないます。内側に巻き込んだ箇所にも必ず行ないます。

その他の貼付方法

ヒンジ貼り (大型のグラフィクスを貼る場合や、アプリケーションテープを利用する場合)

ユーザーマニュアル 1.40 『粘着製品の貼付方法』もご参照ください。

Step 1 グラフィクスの位置決めをします。短冊上のマスキングテープを用い、仮留めします。

Step 2 グラフィクスの位置を調整し、グラフィクスの中央から縦に二分割するようマスキングテープを貼ります。テープはグラフィクスの上下の端からそれぞれ5-10センチ出るようにします。このようにテープを貼ることにより、グラフィクスの位置を固定し、ヒンジ（蝶番）を作ることができます。

Step 3 マスキングテープを境界にグラフィクスを約半分に折ります。剥離紙は付けたままにしておきます。

Step 4 グラフィクスはアプリケーションテープとアプリケーションテープの間で半分に折り曲げられた状態になり、ヒンジにより固定されている状態となります。

Step 5 剥離紙を剥がします。フィルムを剥離紙から剥がすのではなく、剥離紙をフィルムから剥がすようにします。

Step 6 スニッター・剥離紙カッター等を使い、ヒンジ近くで剥離紙のみ裁断します。

被着体を傷つける可能性があるため、金属製カッターは使用しないでください。また剥離紙は、破らないようにしてください。紙の繊維が被着体や粘着面に付着することがあります。

Step 7 グラフィクスを片手で持ち、被着体表面へシワのない状態で置きます。

Step 8 中央部（ヒンジ部分）から、圧着を始めます。上から下へ・中央から外側に向かってスキージを動かします。スキージの角度は45度を保ち、力を加え圧着部分を重複させながら、グラフィクス全体をしっかりと圧着していきます。

注意: 洗剤を含んだスプレーで濡らしたスキージを使う事で、フィルム表面のキズ予防になります。

Step 9 マスキングテープ（ヒンジ）を剥がします。マスキングテープの貼ってあった部分を再度圧着します。圧着する部分を重複させながら、上向きにスキージを動かします。

Step 10 残り半分も同様に、剥離紙を剥がします。

Step 11 先程と同様に貼りつけていきます。上から下へ・中央から外側に向かってスキージを動かします。スキージの角度は 45 度を保ち、力を加え圧着部分を重複させながら、グラフィクス全体をしっかりと圧着していきます。

Step 12 グラフィクスからマスキングテープ/アプリケーションテープを剥がします。マスキングの角から剥がし始め、180 度反対側へ引っ張るようにします。均等な力でゆっくりと剥がしていきます。

Step 13 再度圧着します。しっかりと圧をかけ、全てのエッジを含むグラフィクス全体を圧着します。グラフィクスをしっかりと粘着力を発揮するよう、エッジ部分は特に注意して圧着してください。

注意：乾いた新しいパッドのスキージを使います。フィルム端部への、水分侵入を防ぎます。

グラフィクスの保護とメンテナンス

- クリーニングには、pH 3-11 の洗剤を使用してください。
ユーザーマニュアル 1.50 カーラッピングフィルムのメンテナンスもご参照ください。
- フィルムに傷をつけないよう砂粒などの異物を必ず取り除くようにしてください。
- 洗車用のセーム皮やマイクロファイバークロスを使用し、ブラシは使わないようにして下さい。
- 洗車時の水温は 50 度以下にしてください。
- 必ず最後に水で、洗剤を流してください。水垢が残らないよう、傷がつかない布で拭きあげてください。

注意事項

貼付け後、必ずポストヒーティングを行なってください。

- フィルムを引き伸ばした箇所と端部は、全てポストヒーティング処理を行います。形状を記憶させ、フィルムが元の形状にもどる特性を抑制します。ポストヒーティングに必要な温度は、90～100 度です。
注意：フィルムを加熱し過ぎないように、また、伸ばし過ぎないように注意下さい。フィルムが白化することがあります。
過度の加熱や引き伸ばしによる白色化（白化）は、保証できかねますので、ご了承ください。

保証および免責事項

本ユーザーマニュアルは、施工技術について解説しています。Avery Dennison は、ここに記載の情報は信頼できるものと確信しておりますが、市販性・特定目的との適合性を含む、明示または暗示の保証をするものではありません。

Avery Dennison は、適用される法律が許す範囲において、対抗する法理論に関わらず、直接的・間接的・特異的・付随的または、結果的に生じる損害または瑕疵およびグラフィクスを製作するための技術に関する方法について、責任を負わないものとします

詳細につきましては、エイブリー・デニソンもしくは最寄りの取扱店までお問い合わせください